

2026年5月8日

当院通院中の患者様へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 大腿骨近位部骨折患者における入院時口腔内環境が中・長期の身体機能に及ぼす影響 -口腔内評価（OHAT）を用いた検討-

[研究機関名・長の氏名] 小樽市立病院 病院長 越前谷 勇人

[研究責任者] 小樽市立病院 医療技術部 リハビリテーション科
作業療法士 赤井畑 朱里

[研究の目的]

口腔機能低下や口腔衛生不良が高齢者の筋力低下（フレイル、サルコペニアなど）や歩行能力低下、生活の質の低下と関連することは言われており、入院時から適切な口腔状態の把握や口腔ケアは重要です。当院では、入院時の口腔内環境の評価として臨床的に信頼性のあるスクリーニング手段として妥当性が確認されている口腔内評価（OHAT）を使用しています。入院時のOHATの評価結果が、その後の身体機能に及ぼす影響を調査する研究です。特に高齢骨折患者の入院時の口腔内環境が中・長期での身体機能に及ぼす影響を明らかにし、OHATの予測的有用性を検証することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者様

当院で大腿骨近位部骨折を受傷した患者様

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、手術術式、手術所見、使用薬剤の種類、検査データ（骨密度測定、採血検査、画像検査、身長、体重）、活動状況・認知症に関するスコア（FIM、3day-CAS、FAC）、退院状況（転院か元の場所への退院か）、骨折歴、歩行状態（入院前、退院時、術後6か月、1年）、転倒歴、口腔内評価（OHAT点数、歯科往診記録、歯科受診歴）

[研究実施期間] 実施許可日～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者様の情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道小樽市若松1丁目1番1号

小樽市立病院 医療技術部 リハビリテーション科 作業療法士 赤井畑 朱里

小樽市立病院 整形外科 担当医師 佃 幸憲

電話 0134-25-1211